

# 「山王台のすてきなところを伝えよう」 事業実施報告書詳細

時	場所	概要	活動記録	対象者の反応
1	ホール	流れを確認し、伝える相手・伝え方を決める。	教室前のホール(広場)に集まり、活動の概要について、子どもたちと話し合いながら、決めた。12月の人權週間で、友達のおいどころに目を向ける活動をしたばかりだったので、「今度は山王台のまちのすてきなところを見つけよう。みつげるだけではなく、伝えよう。」と活動へ導入した。伝える相手は1・2年生、伝え方はカルタに決まった。	はじめ、伝える相手は「保護者にと」という意見もあったが、下級生にもっと地域のことを知ってもらいたいと、方向が定まっていた。
2	各教室	すてきなところを各クラスで考え、出し合う。	子どもたちがこれまでの経験で知っている、様々な景観についての意見交換をした。公園が多い地域なので、公園がすてきなところだという意見が多く挙がった。「公園から見える景色がいい。」という声を大きく取り上げた。	これまで、1・2年生の生活科や3年生の社会科で、学区のことを学習してきたので、すてきなところは、たくさん挙がった。公園が多く、自然もたくさんあることを改めて実感し、愛着をもつことができたようだった。
3	みつけよう	校外学習の計画をたてる。(行きたい方向)	公園を中心に探検をして、取材することに決まった。	子どもたちは、山王台の何について伝えたいか、そのためにはどこに取材に行けばいいのかわかるかとどこまで考えていた。学習の見通しを明確にもつことができた。
4	山王台のまち	まちに出て、すてきなところを探す 1日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>久良岐公園</li> <li>学校周辺の小さな公園</li> <li>学校から少し離れた公園</li> </ul> の3方向に分かれることになった。	グループごとにデジタルカメラをもち、それぞれの計画したコースへ取材に出かけた。記録することで子ども達の観察するときにも役に立つと同時に、子どもたちの意欲につながった。
5	山王台のまち	まちに出て、すてきなところを探す 2日目	 <p>高い所から、景観を写真におさめようとする子どもたち</p>	 <p>公園のマップを見ながら考える子どもたち</p>
6				



7	写真などの集めた情報をもとに、読み札を考える。		カルタということで、七五調のリズムのよい文を、写真に合わせて考えていた。
8	カルタづくり・まとめ		写真が写真用紙に印刷されるのを見て、子どもたちの意欲が高まっていた。実際にカルタで遊びながら、内容について推敲する姿が見られた。
9	伝えよう		
10	招待状をかく。	<p>はがきの大きさの招待状を書いた。たてわり活動で同じグループの下級生に宛てて手紙を書いた。</p>	招待状を書くことで、子どもたちの意欲はさらに高まっていた。
11	カルタ遊びを通して、まちのすてきなところを伝える。		2年生とカルタ遊びが終わってから、カルタの内容について、説明するグループもあった。会の最後の2年生の感想では、「楽しかった。1だけではなく、「山玉台のすてきなところがよくわかりました。1と、ねらいがよく伝わった声も聞かれた。
12	下級生と合同で		1年生と活動のあと、1年生から、「3年生ってすごい。」という声が多く聞かれたそう。3年生も、下級生に対して、優しく遊びを通して伝えることができ、満足そうであった。

ださい。

①事業実施報告書詳細

「時間」「場所」「概要」「活動記録（写真）」「対象者の反応」が分かれば様式不問別紙参照

②学習指導案

単元名 (全12時間)	山王台の素敵なところを伝えよう
学習のねらい	自分たちの暮らすまちの特徴やよさに気付き、地域への愛着心を育てるとともに、身近な人たちに伝える関心を高める。
学習内容	1 地域のよさや特徴を考える。 2 まちに出て、すてきなところを確かめながら、新たな発見をする。 3 地域カルタをつくる。 4 カルタ遊びを通してまちのすてきなところを伝える。
参考資料 準備品 実施場所等	学区地図 参考となるカルタ デジタルカメラ プリンター 教室、学区など

学習の流れ

時間	学習活動	指導のポイント・関連する教科等
1	山王台のすてきなところをカルタにして伝えよう すてきなところを考え、伝え合う。	○「まち」のどんな景観を撮りたいかテーマや内容を決め、興味関心を高める。 ○道徳で、自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にしている心情を育てる。
2	○校外学習の計画をたてる。 ・よさを確かめに行くため、行きたい方向を決定する。	○社会科でまち探検をしたとき学習したことを想起し、新たに発見できることを確認する。
3	○まち探検に出かける	
4	・まちに出て、すてきなところ	
5	を確認する。	○A・B・C・Dの4方向に分け、自分の探検したい方向を選ぶ。
6	・1日2時間で2日間探検する。	○公衆マナーを遵守するように指導する。
7	・すてきなところを写真に記録する。	○まちの景観の特徴やよさを確認して、デジタルカメラで記録するよう助言する。
8	○写真などの集めた情報をもと	○国語科「カルタとの関連」

	に、読み札を考える。	・必要な事柄について要点をメモする。
9 10	○カルタづくり・まとめ	○選んだ写真を台紙に貼ってカルタ（絵札）をつくるよう支援する。
11	○招待状をかく。	○1，2年生に分かるようにグループで協力して招待状を書くようにする。
12	○カルタ遊びを通して、まちのすてきなところを伝える。	○どうしてこのようなカルタを作ったのか、各自発表できるようにする。

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>○3年生になって、初めての社会科の学習で、自分たちの住んでいる地域についての学習をしたことを想起させることで、発展、充実した学習になった。</p> <p>○総合的な学習の時間を使い地域全体の取材を実施すると共に他教科との関連を生かしながら、絵札、読み札等の作成に力を入れた。</p> <p>○日頃から地域の自然や風景をみている中で、地域カルタをつくることで、児童にとってまちの特徴やよさをとらえられるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>○まちの関心が子ども達一人ひとり違うため、まち探検での活動場所の整理等で苦労した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>○普段目にしていない登下校路や近所の風景から、それまで気付かなかった景観のよさや他の地域との違いに気付くことができた。</p> <p>○子どもが自分のまち、景観を改めて見直し、興味をもつようになった。</p> <p>○まちに住んでいる人々が、まちを大切にしていることに気づき、さらにまちに愛着がもてるようになった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>○本校周辺の様子について、自然などを生かした教材づくりへの意識が一層高まった。</p> <p>○地域や学区の様子、歴史について理解を深め、地域素材の教材化を図るようになった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>○子どもちの自分のまちへの思いや愛着を深めることができた。また活動を通して子どもたちのまとめる力や表現力、情報活用能力を高めることができた。まちのいろいろなところを調査するときに、計画的に地域の方々の協力もあると子どもたちのまちに対する関心がさらに高まったと感じる。</p>